

季節外れの大雨 標茶町初の避難指示

3月9日、発達した低気圧の通過による暴風雨と融雪により釧路川の水位が上昇。午後1時に桜・旭・平和・富士と麻生・開運の一部、1,270世帯2,640人に避難勧告が出されました。午後3時には避難勧告より緊急性・危険性が高い「避難指示（緊急）」が発表され、午後5時には釧路川が氾濫危険水位の22.50mを越える22.79mまで上昇しました。

この大雨の影響により、床下・床上浸水が12件、国道4路線と道道6路線などが一時通行止め、JR釧網線の運休などの影響が発生しました。





賀東嘉廣さん写真提供



避難所で自主的に支援をしていただきました

避難指示が発令され、指定避難所の農業者トレーニングセンターや福祉センターに多くの方が避難しました。

皆さん不安を抱えている中、休校中の生徒・学生をはじめ町民の方が、自主的に飲み物や非常食を配るなど避難所運営を手伝っていただきました。皆さんの行動により、不安を抱えている避難者の方は勇気付けられました。

ご協力いただきありがとうございます。



①釧路川の水位が上昇し河川敷が完全に水没②オモチャリ川が氾濫し桜地域に大量の水が流れる③開発センター前が冠水④五十石水門は水位が上昇しまるで湖のように⑤標茶高校正門前でも融雪により道路が冠水⑥富士公園が水浸しに⑦磯分内市街地も融雪により道路が冠水⑧釧路川の水位が上昇し高水敷が見えなくなってしまった⑨避難所で不安な一夜を過ごす避難者⑩一夜明け水が引いたが道路は泥だらけ⑪バックネットに枝などが付着。この高さまで水位が上昇した。